

2011年度核融合科学研究所 オープンキャンパス(一般公開) ～安全で クリーンな 未来の エネルギー「核融合」～



2011年10月29日(土)に、核融合科学研究所のオープンキャンパス(一般公開)を開催いたしました。開催当日は、天候に恵まれ、爽やかな秋晴れの中、満開のコスモスとともにおよそ2,700名の方々をお迎えすることができました。今年も、「安全で クリーンな 未来の エネルギー「核融合」」をテーマに掲げ、大型ヘリカル装置(LHD)の見学ツアーや、バーチャル体験、科学工作教室など、体験型の企画を中心に、最新の科学技術に触れていただくたくさんのイベントを企画しました。

バーチャル館では、最近はやりの“3次元映像(3D)”をキーワードに、LHDの内部を疑似体験できる“バーチャルリアリティLHD～3次元映像に入ろう～”や、研究所のマスコットキャラクター“プラズマくん”が活躍する“3D核融合ゲーム”などを楽しんでいただきました。また、撮影した写真にプラズマくんの絵柄をつけたオリジナルのシールをプレゼントしました。プラズマ館では、プラズマの持つ不思議なふるまいを、

見て聴いて触りながら学んでいただきました。LHD館では、世界最大のヘリカル型プラズマ閉じ込め装置LHDや極低温を作る大型冷凍装置を間近に見ることができるツアー、プラズマを超高温に加熱する装置の展示などを行いました。未来マテリアル工房では、磁石や形状記憶合金など、物質が持つ不思議な機能を分かりやすく説明しました。超伝導館では、磁気浮上列車が子ども達に大人気でした。子ども達は、宙に浮いているけど、落ちない不思議な列車に見入っていました。工作教室では、毎年大変人気のあるセラミック折り紙や、科学工作として超簡単モーターやロボット工作を行いました。今年のロボット工作では、光があたる方向に進む“光おっかけロボット”を作り、子ども達に大変好評でした。また、“核融合研究者への道”と題し、研究所に併設されている総合研究大学院大学の紹介を行い、核融合研究者を目指す若い人達に、どうすれば研究者になれるかを分かりやすく説明しました。

公開講座では、エネルギーをキーワードに、小学生向けは「楽しく学ぼう、でんきの作り方講座」、一般の方向けには「私たちの生活とこれからのエネルギー」と題し講演を行いました。小学生向け講座では、子ども達も参加して、うちわで風車を回したり、手で発電機を回しながら電気を作ることの大変さを体験できる講演を行いました。一般向け講座では、私たちの生活に欠かすことのできない電気エネルギーについて、地球温暖化の問題やエネルギー資源の枯渇、再生可

能エネルギーの特徴と課題などを交えながら、安全でクリーンな核融合エネルギーの研究進捗やその果たす役割について講演を行いました。一般向けの講演では、会場が満席となる112名もの方々に聴講いただきました。現在私達が直面しているエネルギー問題への関心の高さと、核融合エネルギーへの大きな期待を感じました。教育連携企画では、高校生が自ら考え行った研究課題について、7校8件の口頭発表と展示発表が行われました。審査の結果、口頭発表では立命館高校が、展示発表では愛知県立一宮高校が最優秀発表に選ばれ、小森彰夫所長から表彰状が手渡されました。

所内8箇所にはクイズコーナーが設けられ、ラリー形式で子ども達に挑戦してもらいました。クイズに正解した子ども達には、プラズマ博士の認定証が授与されました。今年は700名ものプラズマ博士が誕生しました。

天候に恵まれた野外でも様々な企画を行いました。テニスコートでは、プロテニスプレイヤー有本尚紀選手によるテニス教室を開催し、応募いただいた40名の方々にプロの技をご指導いただきました。グラウンドでは、NIFS杯少年サッカー交流大会を開催しました。第10回となる今年は、16チームで予選が争われ、決勝トーナメントでは、刈谷市の富士松FCが優勝しNIFS杯を手に入れました。準優勝は多治見市のホワイトキッカーズでした。芝生広場では、ヘリウム風船を配り、子ども達に大人気でした。また、プラズマ

くんや、多治見市のマスコット“うながっぱ”、下石陶磁器工業協同組合の“とっくりとっくん”が登場し、風船を手にした子ども達と一緒に楽しい時間を過ごしました。隣の広場では、子ども達の手によるペットボトルロケットの打ち上げが行われました。空高くロケットが打ち上がると、子ども達の大きな歓声が起こりました。午後からは、このオープンキャンパスに向けて、研究所スタッフが毎日丹精をこめて世話をしてきたコスモスをプレゼントしました。

今年のオープンキャンパスでは、子どもから年配の方まで、幅広い世代の方々にご来場いただき、未来のエネルギー核融合の実現に向けた取り組みを見ていただきました。これからも開かれた研究所を目指し、オープンキャンパスを開催してまいります。ご来場いただきました皆様に深く御礼申し上げます。

2011年度核融合科学研究所オープンキャンパス実行委員長
金子 修

